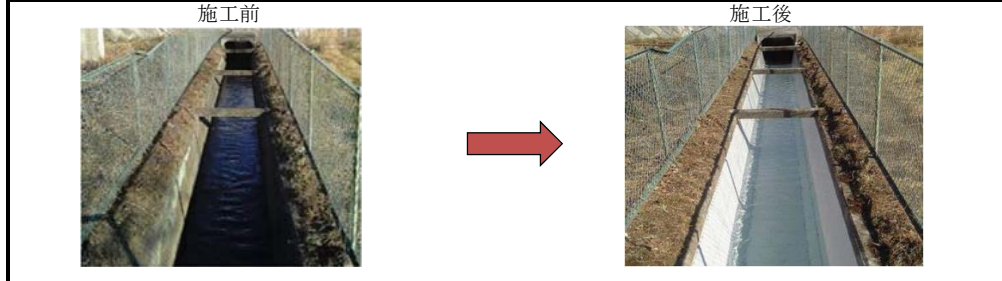
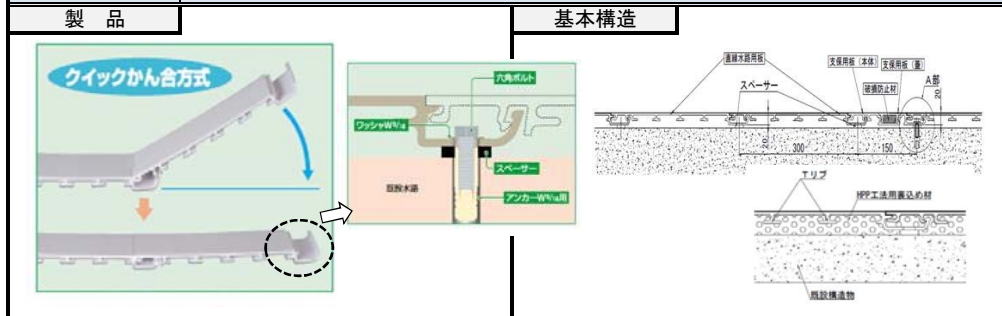


分類	鉄筋コンクリート構造物の補修・補強工法			対策区分	補修
工法区分	表面処理工法 > 表面被覆工法 > パネル工法(アンカー固定方式)				
対象施設	開水路	暗渠	トンネル	頭首工	その他
	○				

工法・材料名称 **HPP工法 (ハイブリッドパネル工法)**



- 特徴
- ① パネル本体は硬質塩化ビニル、表面は耐候性考慮の材料を使用し、優れた耐久性を保有しています。
  - ② パネルはアンカー固定ですが、アンカーが隠れる構造であり、景観を損ないません。
  - ③ パネルの裏側に設けたTリブにより、パネルは裏込材充填で強固に固定されます。
  - ④ パネル同士の接合はクイック嵌合方式を採用しているため、施工が容易です。
  - ⑤ パネルはコンクリートに比して軽量で、人力で持ち運びや施工が可能です。重機が不要で、周辺環境に配慮した工法です。
  - ⑥ パネルで改修することにより水路の断面は縮小しますが、断面は塩ビ管と同等の粗度係数が採用可能です。
  - ⑦ コンクリート製品に比べ耐摩耗性に優れています。
  - ⑧ 施工時に湧水した場合、止水処理は必要ですが、既設水路を強制乾燥させる必要はありません。

適用条件

1. 水路の種類

コンクリート	現場打ち	○
	二次製品 (L型水路等)	○
	二次製品 (柵渠) B型	△
	ブロック・石積み	△

○: 適用できる  
△: 条件付きで適用できる

2. 水路のサイズ 水路の幅: 4m以下、水路の高さ: 4m以下

この範囲外でも適用できる場合もございますのでご相談ください。

品質規格(開水路補修マニュアル)への適合性			構造諸元		
基本的性能	耐久性	○	構造形式	パネル構造	
	付着性(アンカー引抜強度)	○	形成方法	パネル貼付+裏込充填	
	耐摩耗性	○	パネル材料	塩ビ製樹脂(2層)	
	グラウト材	無収縮性 未実施 耐圧縮性 未実施	粗度係数	塩ビと同等 0.010(実験値)	

実施例

使用パネル

施工手順

- ① 既存水処理の
- ② パネル貼付
- ③ 端部継目処理
- ④ 支保工設置
- ⑤ 裏込材の打設
- ⑥ コーナー部処理
- ⑦ 完成

目地シーリング (幅1m×高さ1m、ハンチ150mm)

主な施工実績	平成28年3月現在	使用実績	全国総箇所数 15箇所
平成18年12月	埼玉県秩父郡小鹿野町	1300×1100	延長: 230m
平成20年 3月	埼玉県熊谷市	4000×950	延長: 10m
平成21年 3月	岩手県滝沢村	1800×1400	延長: 10m
平成21年 1月	千葉県松戸市	1500×1020	延長: 105m
平成21年 9月	新潟県三条市		約30㎡
平成21年12月	新潟県	3400×1700	延長: 40m

概算工事費

工法単価(直工費税抜き):  
概ね 1㎡当たり ¥19,000~¥21,000 (幅高さ1m×200m直線水路の場合)

本工法に関する問い合わせ先

販売地区に限定を設けております。事前にご相談ください。

**株式会社クボタケミックス**

東京都中央区日本橋3丁目3番2号トルナーレ日本橋浜町3F  
 営業本部 管更生営業課長 西村 行弘 TEL 03-5695-3364  
 FAX 03-5695-3187  
 E-mail: yukihiko.nishimura@kubota.com URL: http://www.kubota-chemix.co.jp